

「脳は柔かく壊れやすいものです。しかし、その構造とは裏腹に、いったん傷害された機能は容易く変わるものではありません。」

上記は、編集者が30年近く前の講義で聞いた一コマです。現在では、理学療法の基盤として、脳の可塑性や運動学習の理論を知らない学生はいないでしょう。このような水準の変化こそ進歩といってもよいのではないのでしょうか。

本特集では「運動学習」を正面から取り上げ、歴史を踏まえた概観、具体的な方法論、最新の知見、臨床適用の実際、そしてそれぞれの立場からの課題と展望についてご執筆をいただきました。この特集自体が真のチーム医療の具現化であり、それぞれが平等な立場で専門性を発揮し、共通の目標に向かって真摯かつ挑戦的な意見交換や思いが託されています。大橋先生、谷先生、池田先生お3人の理学療法士としての科学性と、内藤先生、長谷先生の臨床的感性や理学療法への眼差しには深い感慨を覚えます。

関連する研修会等で勉強熱心な若手講師が「したり顔」で、「脳科学の進歩で辺縁系の解明が進み、意欲や動機こそが学習の強化因子として重要なのです」と話すなかで、いくつかの意見が交錯しました。1つには、臨床の理学療法士であれば誰もが情緒・認知機能が重要であることを経験知として理解しているということ、一方では、学問の進歩に対し自分は最初からそんなことはわかっていると片づけて基礎研究を軽視する長老ぶった誤知り顔です。いずれもチーム医療を推進するために十分な意見ではないように思うのです。

わが国には、90,000人を超える理学療法士が登録されています。その中には清流を好む者もいれば、泥臭い澁みこそが自分の棲家だと思われる人もいるでしょう。清流を好む山女魚を静かな湖に移しても生き延びることはできません。また、本流にいる岩魚と支流の淵に潜んでいるものとは、外見は同じようでも活力は随分と違っています。科学と技能(science & arts)、基礎と臨床、学術と職能、いずれも車の両輪にたとえられるように協調とバランスが重要です。特に、2つの車輪の大きさが同じであることがことのほか大切です。一方が大きくなることで、かえって全体のパフォーマンスが低下することは、抑制ではなく促進の概念で回避する必要があります。顔の見えない集団では阿吽の呼吸が通じにくいこともありますが、信頼の中で解決できることが多いと思います。対象者の多様性を尊重するためには、理学療法や理学療法士の多様性も許容されなければなりません。このことは、診療ガイドラインや根拠に基づく理学療法の推進と矛盾するものではありません。標準化とは個別性を際立たせる指標であるからです。専門職集団では、様々な経験から多くのことを学習し、それを保持し転移できる能力が大切です。

新年を迎えて、様々な誓いを胸に新たな活動を始めておられることと思います。2012年が皆様にとって幸多い1年となりますことを心から祈念申し上げます。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第46巻 第1号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2012年1月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

電話 本誌編集部直通(03)3817-5704

(担当:阿部・川上・山崎)

2012年 年間購読料(税込み、配送料
弊社負担)冊子のみ 20,880 円、冊子+
電子版/個人 23,880 円、冊子+電子版/
共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、
電子版/共有 24,100 円

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 株式会社(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 (03)3814-1971

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 夫
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 田 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 山 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里